

「復興と廃炉の両立に向けた福島の方々へのお約束」 実現に向けた取組み状況



2021年5月27日

東京電力ホールディングス株式会社

2. 昨年公表した取組み方針とこれまでの進捗(概要) ①

3

- 当社は「復興と廃炉の両立に向けた福島の皆様へのお約束」を昨年3月に公表
- 組織を「ひらく」、人材や産業を「つくる」、復興と廃炉を「やり遂げる」の3つの柱に整理し、関係機関と連携しながら鋭意取組み※1

お約束の内容	これまでの進捗
<p data-bbox="210 874 282 1104">ひ ら く</p> <p data-bbox="327 603 981 655">【事業見通しの積極的な公開】</p> <ul data-bbox="333 671 1189 775" style="list-style-type: none">● 廃炉事業の今後の見通しについて、より丁寧にわかりやすくお伝えしてまいります <p data-bbox="338 802 524 922">至近の 取組</p> <ul data-bbox="539 810 1218 914" style="list-style-type: none">・ 調達計画の公開・ 中長期見通しの企業向け説明会 <p data-bbox="327 963 958 1016">【オープンな参入環境の整備】</p> <ul data-bbox="333 1032 1256 1198" style="list-style-type: none">● 立地町をはじめ、浜通り地域・福島県内の企業の皆さまに一層ご協力いただけるオープンな環境を整備します <p data-bbox="338 1241 524 1361">至近の 取組</p> <ul data-bbox="539 1249 1227 1353" style="list-style-type: none">・ 地元企業対象の商談会・ 参入希望企業向け窓口等の整備	<ul data-bbox="1312 635 2056 1185" style="list-style-type: none">● 3カ年調達計画公表 2020.5● 廃炉中長期発注見通し説明会 2020.9～ 計13回※2● 地元企業対象商談会 2019.12～ 計4回● マッチングサポート事務局開設 2020.7～ 119社登録 <p data-bbox="1357 1201 1883 1233">※2 廃炉スタディツアーでのご説明を含む</p>

※1 これらの取組みは福島相双復興推進機構(福島相双復興官民合同チーム)、福島イノベーション・コースト構想推進機構の多大なご協力をいただきながら実施

お約束の内容

これまでの進捗

つくる

【地元経済の基盤創造】

- 地域に新たな雇用や技術が生まれるよう、地域の皆さまと取り組んでまいります

至近の
取組

- ・ 企業等への進出働きかけ
- ・ 地元との協業分野・スキーム検討

【人材育成】

- 廃炉事業を通じ、地域の発展を担う企業・人材の育成に努めます

至近の
取組

- ・ 地元企業のニーズを踏まえた研修
- ・ 学術機関・大学との連携

- **中長期的な廃炉関連施設の考え方公表**
2021.5 (本日)
- **廃炉関連製品製造に向けた共同事業体設立公表**
2021.5 (本日)
- 廃炉スタディツアー開催
2020.11 計2回
- 大学との共同研究
2020年度 4大学
(東京大学、東京工業大学、東北大学、福島大学)

お約束の内容	これまでの進捗
<div data-bbox="203 584 277 991" style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: 0; top: 50%; transform: translateY(-50%);">やり遂げる</div> <p>【計画的な廃炉】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 廃炉を安全・着実に進めるためのプランを作成・更新し、より計画的に作業を進めていきます <div data-bbox="338 632 528 754" style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">至近の取組</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃炉中長期実行プラン公表 <p>【地域の安全・安心の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域の皆さまの安全・安心な暮らしのため、事故の当事者として、そして地域の一員として、全力で廃炉事業に取り組みます <div data-bbox="338 1082 528 1204" style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">至近の取組</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福島第一機能強化に向けた組織改編 ・ 地域の皆さまによる発電所視察 	<ul style="list-style-type: none"> ● 廃炉中長期実行プラン改訂 2021.3 ● 福島第一組織改編 2020.4 ● 地域・社会の皆さまによる福島第一視察* 2020年度 4,322名 (うち、福島県の皆さま 1,289名) <p><small>*参考 コロナ感染拡大防止のため視察中止とした期間 2020年2月29日～6月30日 2021年1月 8日～3月21日</small></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 災害発生時の情報発信改善 取組み中 ● 設備・建物の老朽化対策 取組み中

3. 廃炉産業集積に向けた基本的考え方と当面の取組み 6

- 廃炉産業集積に向けた取組みを、大きく3ステップに整理
- 2020年度はSTEP1・2に注力し一定の成果。この取組みを継続・強化すると共に2021年度は新たにSTEP3にも踏み出していく（詳細は次頁以降）

	基本的な考え方	当面の取組み	
これまで	STEP1 地元企業の 参入拡大	「地元で出来る仕事は、可能な限り地元が発注する」ことを目指し、地元企業の新規参入・受注拡大に向けた環境を整備する	<ul style="list-style-type: none">● 発注見通し説明会の開催● 商談会の開催● 相談窓口の運用継続
	STEP2 地元企業の ステップアップ サポート	意欲ある地元企業がより高度な業務に進出できるよう、関係機関とも連携しながら、経営力・技術力向上をサポートしていく	<ul style="list-style-type: none">● ニーズを踏まえた研修開催● 受注後の細やかなフォロー● 県外企業との提携支援
これから	STEP3 地元での 新規産業創出	これまで東京や海外へ発注していた中核技術・製品について、浜通りで開発・製造できるよう、新たな施設や事業体を設立	<ul style="list-style-type: none">● パートナー企業と共同で廃炉関連製品工場設立● 当該工場による地元での雇用、協業、発注

【ひらく】事業見通しの積極的な公開

廃炉中長期発注見通し説明会

概要

- 地元企業の皆さまを対象として、福島第一廃炉事業にご参画しやすくなることを目的とした廃炉中長期発注見通し※の説明会を開催

※ 廃炉作業を工法・装置等の設計、特別製作装置等の調達、現地工事まで分解した今後10年程度の発注計画

実績

- 元請企業(53社)に説明会を計2回開催 (2020.09、2021.03)
- 立地町等の商工会会員を対象とした説明会を計9回開催 (2020.12、2021.05)
- 廃炉スタディツアーにあわせて説明会を2回開催 (2020.11)

参加された企業さまの声

- とても良い取組みなので、今後も継続してほしい
- 近い時期で地元企業ができる仕事を詳しく説明してもらいたい



2021.3説明会(元請企業)



2020.12説明会(商工会)

【ひらく】オープンな参入環境の整備

地元企業対象商談会

概要

- 福島第一廃炉事業へ参入意欲がある地元企業を対象に、当社や元請企業との関係構築や、具体的業務の商談を目的に開催

(福島県および福島関連産業マッチングサポート事務局主催)

実績

- 2019.12 角形容器製造 → 3社受注
- 2020.02 分電盤取付等 →4社が企業登録候補
- 2020.10 大型製缶品の機械加工他2件 →17社が企業登録候補
- 2021.03 防潮堤補強土壁の鉄筋納入 → 1社が内定(2021.4末時点)

参加された企業さまの声

- 今回の案件以外でも繋がりをもてるきっかけになったと感じた



2020.02トライアルマッチング会



2021.03商談会

【ひらく】オープンな参入環境の整備

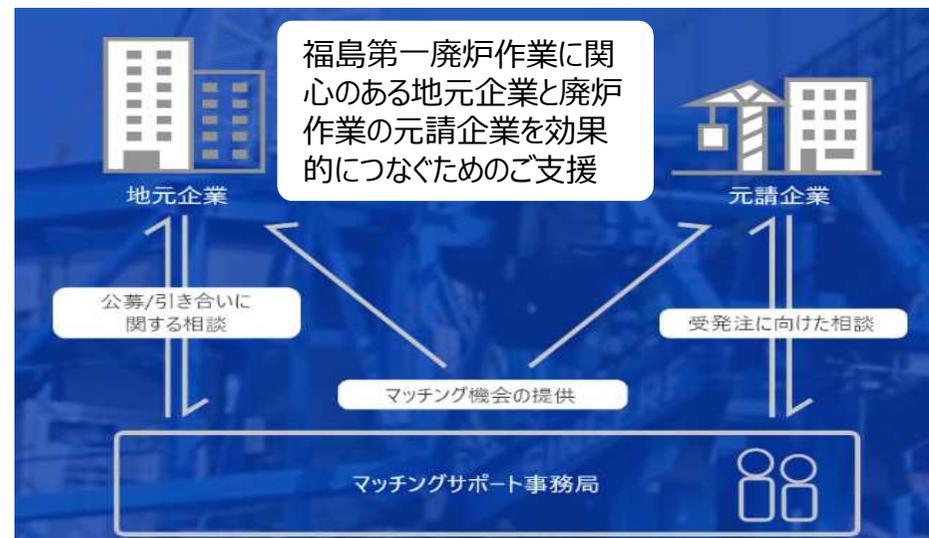
マッチングサポート事務局活動

概要

- 福島第一廃炉事業に関心のある地元企業の廃炉作業参入支援を目的とした相談窓口を設置し、各企業の状況に応じて総合的な支援活動を展開
- 当社ではさらに福島第一に専任部署を設置し、日常的に登録企業をご訪問してヒアリングを継続中

実績

- 登録企業119社 (2021.4末時点)
- マッチングサポート事務局にてコーディネートした案件のうち、受注、受注見込み延べ13社 (2021.4末時点)



【つくる】人材育成

廃炉スタディツアー

概要

- 福島第一廃炉事業未参入のマッチングサポート事務局登録企業を対象として、福島第一の設備と作業環境を直接ご視察いただくとともに、廃炉中長期発注見通しをご説明

実績

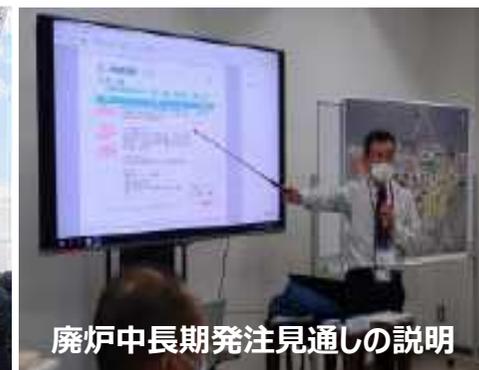
- 計2回開催 26社参加 (2020.11)

参加された企業さまの声

- 現場の状況、安全対策など現場の様子が見えてきた
- 参入を希望する企業向けの細かい説明が良かった
- 発注内容の専門性が高いと感じられ、参入実績のない企業にとっては難しかった



福島第一の設備と環境を確認



廃炉中長期発注見通しの説明

地元企業による防潮堤補強土壁の鉄筋加工

～工事・金属加工業～

商談会の開催

- マatchingサポート事務局にて、福島第一廃炉事業に携わる元請企業と地元企業の橋渡しを行う商談会を開催（日本海溝防潮堤の補強土壁に使用する鉄筋加工 2021.3）

背景と経緯

- 従来、工事一式を元請企業に一括発注していたものを、地元企業が比較的参入しやすい案件を抽出しマatchingサポート事務局登録の地元企業のリサーチを実施（設備、取得資格、工事实績等）
- 本案件では受注可能性のある地元企業7社を選出。商談会にて個別面談を実施の結果、1社が内定

参加された企業さまの声

- 今後も廃炉事業に携わりたいので、引き続き案件があれば連絡をもらいたい
- 今回は残念ながらマatchingできなかったが、当社のアピールができた
- 元請企業から地元への発注意欲を強く感じられた



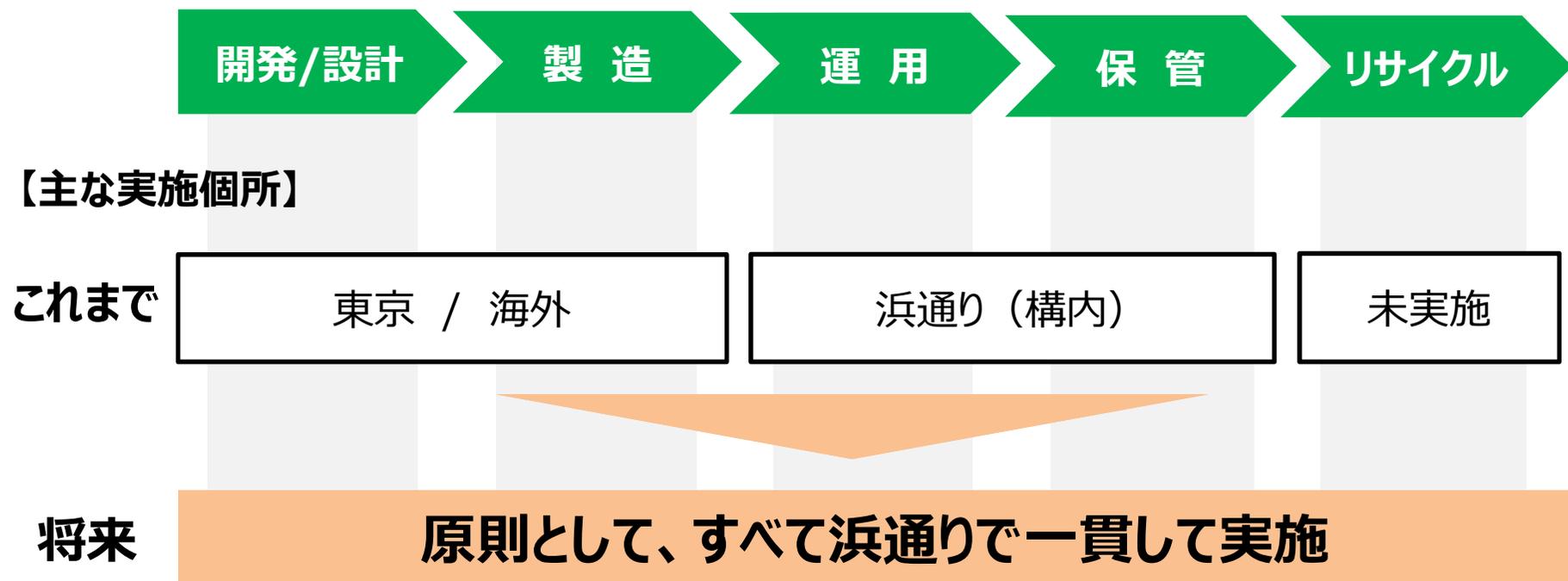
5. 今後の取組み（新規産業創出）①

STEP3

10

- これまで東京や海外へ発注していた**廃炉の中核技術・製品**について、将来的には**浜通りで開発・製造し、地元経済の中長期的な柱**とすることを目指します。
- その実現に向け、当社が主体となり、**高度技術を持つ県外企業の誘致**を図ると共に、**地元企業と緊密な連携**を図り、地域の雇用創出、人材育成、産業・経済基盤の創造等に貢献してまいります。

【廃炉事業の基本的な流れ】



5. 今後の取組み(新規産業創出) ②

STEP3

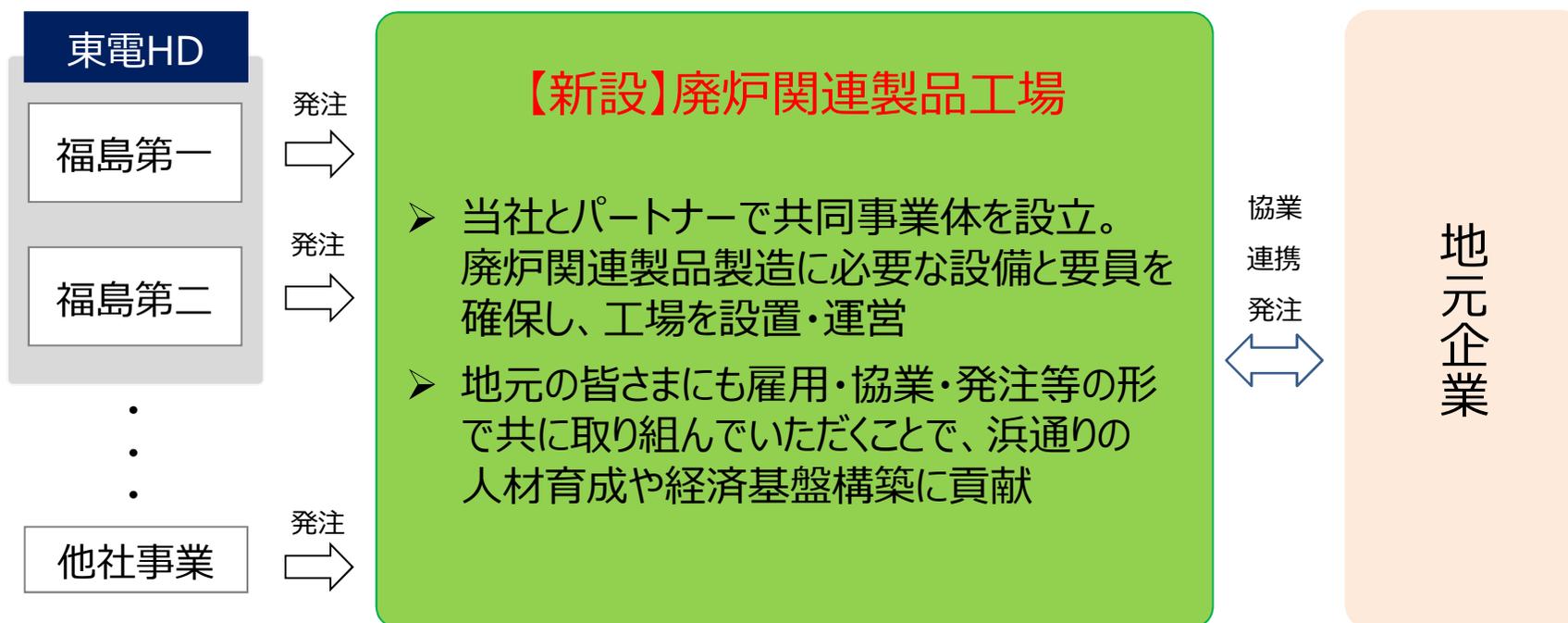
11

- 浜通りでの一貫実施体制整備に向け、**2020年代に以下の廃炉関連施設の設置を予定しております。**
- これら施設の建設・運用による浜通りへの**経済効果等**は以下の通り見込んでおります。
 【建設時】 総投資額：約5,000億円 工事従事者：平均約300人/日 最盛期約1,000人/日
 【運用時】 浜通りへの経済効果：約200～300億円/年 雇用創出：約300人/年

工程	施設名	施設概要	設置時期	想定立地
開発/設計	技術開発・放射線分析関連施設	● 今後の廃炉に必要な技術開発や、幅広い試料の放射線分析を行う施設	2020年代中盤	
製造	廃炉関連製品工場	● 福島第一、福島第二で必要となる廃炉関連製品を製造する工場 ※詳細次頁	2020年代中盤	福島第一/ 福島第二
運用	デブリ取出し建屋・メンテナンス施設	● デブリ取出用セル等を設置する建屋/デブリ取出装置のメンテナンスを行う施設	2020年代後半	
保管	福島第二使用済燃料乾式貯蔵施設	● 福島第二燃料プールから取り出した使用済燃料を、一時的に保管する施設	2020年代後半	構内もしくは近隣
保管リサイクル	金属溶融・廃棄物関連施設	● 汚染金属を除染・減容化する設備、固体廃棄物を切断・破砕する減容施設、各種廃棄物を保管する貯蔵施設等	2020年代中盤～後半	

※主要施設のみ記載

- 地元での「製造」について、これまで県外製造とせざるを得なかった高機能製品について、中長期的に浜通りで生産していくため、立地地域での廃炉関連製品工場の建設・運営を目指します。
- 建設・運営にあたっては、当社の考えに共感いただき、かつ原子力関連における実績のあるメーカーと共同事業体設立を基本とします。また、地元の皆さまとも、雇用・協業・発注等のあらゆる面で、ぜひ共に取り組んでまいりたいと考えております。
- 共同事業体のパートナーは公募とし、詳細が固まり次第、当社HPでお知らせします。





賑わい創出

交流人口
増加



経済貢献



人材育成



雇用創出

